

## 化学物質による健康障害

＜平成29年の労働者死傷病報告のうち、事故の型が「有害物等との接触」であるもので、その起因物が化学物質であるものを、原因物質別、障害内容別に集計したもの＞

	件数	割合	障害内容別の件数		
			吸入・経口による中毒、障害	眼障害	皮膚障害
特別規則対象物質	78	20.5%	32 (37.6%)	14 (16.5%)	39 (45.9%)
特定化学物質	64	16.8%	25	10	36
有機溶剤	13	3.4%	6	4	3
鉛	1	0.3%	1	0	0
四アルキル鉛	0	0.0%	0	0	0
特別規則以外のSDS交付義務対象物質	93	24.5%	6 (6.2%)	31 (32.0%)	60 (61.9%)
SDS交付義務対象外物質	96	25.3%	8 (7.9%)	30 (29.7%)	63 (62.4%)
物質名が特定できていないもの	113	29.7%	14 (11.8%)	30 (25.2%)	75 (63.0%)
合計	380	—	60 (14.9%)	105 (26.1%)	237 (59.0%)

※複数の傷害が発生しているものがあるため、合計値は件数と合わない場合がある  
※（ ）内は障害内容別の件数を合計したものに対する割合

# 化学物質による健康障害

＜平成30年の労働者死傷病報告のうち、事故の型が「有害物等との接触」であるもので、その起因物が化学物質であるものを、原因物質別、障害内容別に集計したもの＞

	件数	割合	障害内容別の件数		
			吸入・経口による中毒、障害	眼障害	皮膚障害
特別規則対象物質	77	18.5%	38 (42.2%)	18 (20.0%)	34 (37.8%)
特定化学物質	47	11.3%	19	12	24
有機溶剤	28	6.7%	17	6	10
鉛	2	0.5%	2	0	0
四アルキル鉛	0	0%	0	0	0
特別規則以外のSDS交付義務対象物質	114	27.4%	15 (11.5%)	40 (30.8%)	75 (57.7%)
SDS交付義務対象外物質	63	15.1%	5 (7.5%)	27 (40.3%)	35 (52.2%)
物質名が特定できていないもの	162	38.9%	10 (5.8%)	46 (26.7%)	116 (67.4%)
合計	416		68 (14.8%)	131 (28.5%)	260 (56.6%)

※複数の傷害が発生しているものがあるため、合計値は件数と合わない場合がある  
※（ ）内は障害内容別の件数を合計したものに対する割合